



● ADVAN CUP 2017 開催概要 ●

本大会は参加者が安全に楽しくモータースポーツを行うことを趣旨とし、国内競技規則及び国内カート競技規則とその付則ならびに、この開催概要を基に従って開催される。本大会は参加者が協力し合い、上級者の方は初心者の方などに対する配慮等出来るようにし“ルールとマナー”を尊重しながらモータースポーツを楽しむことを目的とする。本シリーズの規則内容が、K-TAI 規則との内容が一致しない場合は、本開催概要が優先される。

第1章 大会開催に関する事項

- 1、 **イベント名称**: ADVAN CUP 2017 (アドバン・カップ)
- 2、 **主催**: 株式会社 新東京サーキット (ホームページ <http://www.n-tokyo.co.jp>)
- 3、 **開催日程**: 2017年1月14日(土曜)
- 4、 **レース方法**: 汎用4ストロークエンジンを使用した5時間(300分)耐久レース。
ショートレイアウトを使用する(第6コーナーをショート設定)
- 5、 **開催区分**: 応募の数によって定員数をコントロール(振り分け)する場合がある。
 - 【GT-1】…定員20チーム
もてぎカート耐久フェスティバルK-TAI特別規則書“エンジョイクラス”に準拠した参加者持ち込みのマシン、もしくはそれに準じたカートショップやチームが所有しているレンタルカート。
 - 【GT-2】…定員10チーム
市販状態から基本的に完全ノーマルエンジンのクラス。本規則書に準拠した参加者持ち込みのマシン、もしくはそれに準じたカートショップやチームが所有しているレンタルカート。
 - 【GT-3】…定員10チーム
新東京サーキットが用意するレンタルカート。雨天時においてレインタイヤの装着はしない。但し安全走行できないと判断された場合は、レースの短縮・中止をする場合がある。
- 6、 **公式通知に関する規定**: 本規則に記載されていない競技規則に関する実施の細目及び、ドライバーに対する指示細目は、本規則書付則及び公式通知によって公示される。公示の方法は主催ホームページ上、もしくはイベント開催当日に配布される。

第2章 参加に関する事項

- 1、**延期、中止または取り止め及び変更に関する事項**:オーガナイザーは、大会の一部あるいは全部を延期、中止、または取り止めることができる。原則として延期され、イベントの全てが取り止めになった場合エントリーフィーは全額返還される。また、エントラント及びドライバーはこれによって生じる損失についてオーガナイザーに抗議する権利を保有しない。なお、オーガナイザーはイベントの内容を変更する権限を保有する。これに対する抗議は認められない。
- 2、**開催の有無およびキャンセル(イベント当日について)**:雨天決行とする。但し、安全に運営できないと判断された場合は、レース時間の短縮や順延・中止する場合がある。走行が一回も行われずに中止が決定した場合、手数料(¥1000-)を除き参加費は返却される走行開始後(公式練習含む)は返金されない。
- 3、**参加資格**
 - ・ 満18歳以上とする。
 - ・ チーム代表者は JAF/SL いずれかのカートライセンスを所有していること。GT-1/2 は義務、GT-3 は推奨とする。
 - ・ 助っ人ドライバーは 1 チーム 1 名までとし、最大走行時間を合計 50 分(300 分中)までとする。全日本カート選手権や新東京主催“NTC CUP”、各サーキット/イベントの主催するレースにおいて、シリーズ上位入賞経験者、プロとして活動しているドライバーなどを対象とする。(過去 3 年間)。
 - ・ 本大会は「安全に楽しむ」ことを目的に開催される。勝負にこだわる・マナーが悪いなど、イベント主旨を理解できない者の参加は認められない。
- 4、**チーム編成**:1チーム3名～8名まで。**レース正賞/副賞は代表者に対して与えられる(支払われる)。**
- 5、**受付方法**:エントリー用紙を記入の上、FAXで申込を行う。その時点で仮決定となる。FAX送信後、7日以内に指定の口座(下記参照)へ振り込むこと。期日を過ぎても振込を確認できなかった場合は、連絡や告知なしにエントリーがキャンセルされる場合がある。振込が確認できた時点でエントリー完了となる。新東京サーキット事務所の窓口にて、直接申込も可能(現金書留も可能)。

京葉銀行うすい支店 普通口座4823811 株式会社新東京サーキット

(例) トウキョウ シンタロウ(←振り込み名は代表者名)

- 6、**エントリーの受付**:レース開催日より1ヶ月前から。
- 7、**エントリーフィー**:イベント当日の練習走行も含む。
GT-1 (¥32000-) GT-2 (¥28000-) GT-3 (¥51500-)
- 8、**エントリーの受理と拒否**
 - ・ オーガナイザーは理由を示すことなくエントリーを拒否することができ、かつその行為をもって最終決定とする。この場合、エントリーフィーは全額返還される。

- ・ エントリーの受理は、必要事項のすべてが明記された参加申込書兼およびエントリーフィーが受付場所で受理された時点でオーガナイザーの参加承認が成立しますが、拒否の通知は開催日までに通知される。
- ・ 一旦受理されたエントリーフィーはいかなる理由があっても返還されない。

第3章 車両に関する事項(GT-1、GT-2)

1、シャシーについて

- ・ 公認実績のあるカート用シャシーのみ使用可能。
- ・ 前後左右にはバンパーを必備とし、大型リアバンパー、もしくはリアプロテクション必備。
- ・ フルカウル禁止。
- ・ ウイングや空力向上のためと思われるスポイラー類は禁止(メーカー標準装備品は除く)。
- ・ バックミラーの取付けは自由。走行中に緩んでいると判断された場合は、ピットに呼び戻される。
- ・ その他、K-TAI規則に基づくが、主催者側が安全基準を満たしていないと判断された車両については走行を認めない場合がある。
- ・ オリジナルデザイン(カウル、スーツなど)での参戦、大歓迎!

2、タイヤについて:アドバン:ED【ウェット】自由

3、エンジンについて

<共通規則>

基本エンジンは登録された国内メーカー汎用4ストロークエンジンに限る。エンジン本体の定義は、マフラー、キャブ、燃料タンク、クラッチ・エアクリーナー以外のエンジン本体とする。

- 1) エンジン本体は市販状態から変更・改造不可※禁止事項※
- 2) 点火装置・点火時期を変更してはいけない※禁止事項※
- 3) ファン・フライホイール・サイドエンジンカバーの変更を認めない※禁止事項※
- 4) 使用しているエンジン形式内での純正パーツの交換を認める。
- 5) ガバナ装置の取り外し、回転リミッターの取り外しは可能。
- 6) 製造者が申請し大会事務局が公認した物の使用を認める。ただし性能変化が無くエンジンを保護する目的で一般販売されている物に限る。
- 7) マフラー音量については厳しくチェックし、主催者の判断で使用不可にする場合がある。
- 8) リコイルスターター(手動)での参加を認める
- 9) エンジンのオイルドレンボルト(前後2箇所)へのワイヤーロックを義務付ける。
- 10) その他性能に変化を与える部品。

【GT-1エンジン規定】

HONDA、GX-200SP ~~GX270(使用禁止)~~ SUBARU、EX-21、EX-27、KX-21

YAMAHA、MZ-200

※ キャブレターの変更は自由とするが、チョークボア側の最大直径は30mm以下とすること。又エアークリーナーなど、必ず取り付ける事。燃料ポンプ負圧穴の加工は許可する。

<変更可能なパーツ>

- ・エンジン本体以外のキャブレター、マフラー、クラッチ
- ・エキゾーストマニホールド/マフラー
- ・インテークマニホールド/キャブレター(最大直径30Φ以内)
- ・エアークリーナー ・クラッチ

【GT-2エンジン規定】

HONDA GX-200SP、SUBARU KX-21、YAMAHA MZ-200

＜変更可能部品＞・プラグキャップ ・プラグコード ・プラグ ・ジェット類 ・フロントギア

4、燃料について

ガソリンスタンドで購入できる一般市販の燃料に限る。エンジンオイルは通常市販されているもののみとし、それ以外の添加物の使用は認めない。レース終了後、検査の為に余分に残しておくこと。

5、ゼッケンについて:

	GT-1	GT-2	GT-3
文字色	黒 black	黒 black	主催者より
背景色	白 white	黄色 yellow	毎戦配布

- ・ 年間を通して共通のゼッケンとする。特に指定がない場合は主催者により決定される。ゼッケンが用意できない場合は、主催者より配布される(4ヶ所分)。
- ・ 車両の前後に 200mm×200mm 角以上のゼッケンスペースを設けること(スペースが確保できない場合はナンバープレートを装着すること)。ゼッケンの文字・色についてはコントロールタワーおよび各ポストにてオフィシャルより確実に識別できるものを使用すること。不明瞭と判断された場合は、速やかに修正すること

6、最低重量:150kg 以上とする。最低重量はチーム登録ドライバーの平均体重(ドライビング装備着用時)に、車両重量を加えたものとする。マシンにオモリを装着する場合、ネジは2点止めでしっかりと固定すること。重量を合わせる為にドライバーがオモリと思われる物を着用して走行することを認めない。

※女性ドライバーの重量測定は任意とする。拒否の場合は一律60kgとする。

※平均年齢が50歳以上を超えるチームは、最低重量から5kg軽くすることができる。ただし、チーム内に40歳以下のドライバーがいた場合は適用外とする。

7、重量測定について

＜ブリーフィング前(朝)＞

- ・GT-1、GT-2は簡易車検、およびドライバーの重量測定を行う。
- ・GT-3はドライバーの重量測定のみ行う。

＜レース終了後＞

- ・GT-1、GT-2はレース終了後、車検場でマシンの重量を計測する。朝のドライバー平均体重とマシン重量の合計が規定よりも下回った場合は、失格とする。

8、ドライバーの装備について

- ・ ヘルメットはフルフェイスを着用(バイザー必備、ティアオフシールドも使用可)
- ・ 服装はレーシングカート用スーツもしくは4輪レース用レーシングスーツもしくはメカニックスーツ(厚手の布つなぎ)、くるぶしまで覆う靴、滑り止めの着いた手袋。(注)スーツの一部が破けていたり、すり切れそうだったり、油がしみこんで汚れていたりした場合は不可とする場合がある
- ・ リブプロテクター、ネックガードの使用について強く推奨する。

第4章 GT-3(レンタルカート)の車両に関する事項

- 1、**参戦車両(レンタルマシン)の決定**:レース当日、朝の重量測定後に抽選を行い、マシンを決定する。
- 2、**マシンスペック**:
シャシー/ビレルN35-GT エンジン/YAMAHA MZ タイヤ/ダンロップ
- 3、**服装について**:ワンピースタイプ(布ツナギなど)の服装、運動靴、滑り止めのついた手袋、フルフェイスのヘルメットを着用し走行すること。ジーパンやジャージなど、主催者が走行に不適切と判断した場合は当日の走行を認めない。レーシングスーツの有料貸出あり(1着¥2000/1日) ※サイズ、個数に限りあり。
- 4、**カートの破損・リタイヤ**:レンタルカートの破損はすべて、アクシデント(事故など)の経緯関係なく、そのカートに乗車したドライバー(チーム)に修理代を請求する。
- 5、**車両の広告について**:貸出した状態に戻せるのであれば、貼り付けを許可する。もしそうでなかった場合、カウルステッカー代を請求する場合がある。
- 6、**リペアエリアの設置**:レース中、接触やコースアウト、不慮のトラブルでカートが破損した場合はリペアエリアを設け、専任のスタッフにより修理を行う。複数のカートが重複した場合はリペアエリアに到着した順番となる。よって、軽度な修理でも順番待ちが発生する場合もある。原則として車両交換は行わず修理を行うものとする。ただし、修理不可能な場合にはスペアカートに変更することが認められるが、操作ミス等で破損しスペアカートを使用した場合には有料(¥18,000-/1台)とする場合がある。また、メンテナンスについては十分に行っているが、耐久レースともなると予想できないトラブルが発生することがあるので、ご理解ください。主催者によりマシンの整備不足や不備によるトラブルと判断された場合は、周回やピット回数に対して追加/変更される場合がある。
- 7、**カート操作の注意点**:カートのセッティング変更等は原則として認めないが、ペダル位置変更とデーターローガー設置は自由とする。車載カメラ等についてはスタッフ指示のもと設置すること。また、考え起こりえるトラブルとしては下記の通り。十分に注意して取り扱うこと。
 - ・ 縁石使用(乗り上げ)によるホイールハブの破損(タイヤの脱落)
 - ・ ペダルを強く踏みすぎてワイヤーが伸縮してしまう/切れてしまう。

第5章 競技に関する事項

1、フラッグについて

- ・ 黄旗(イエローフラッグ):危険予告。コース上に危険がある。加速してはいけない。追い越し禁止。
- ・ 緑旗(グリーンフラッグ):コースクリア。SC解除の合図。黄旗解除には使われない。
- ・ 赤旗(レッドフラッグ):レース中止(中断)。全てのドライバーは直ちにレースを中止し、オフィシャルから指示された場合はどの地点でも停止できる体勢でスタートラインまで徐行し停止する。
- ・ 白黒斜分割旗:スポーツ精神に反する行為をしたドライバーに対する警告。ピットに戻る必要はないが、走行に注意が必要。
- ・ 黒旗(ブラックフラッグ)+サインボード:番号で示された車両(チームマシン)は速やかにピットインし、ペナルティエリアにてオフィシャルから指示されるペナルティを受けてください。
- ・ オレンジボール旗+サインボード:番号で示された車両(チームマシン)は速やかにピットインすること。

2、レース方法:スタートから所定時間内の周回数で順位を争う。チェッカーフラッグを受けることを優先し、ピットおよびコース内外で停止などチェッカーフラッグを受けられない場合、最多周回数チームの60%以上走行していれば完走と認定する(リタイヤ届けを提出した車両は除く)。同一周回の場合にはチェッカーを早く受けたチームが上位と認定される。レース結果は主催者から発表される正式結果発表を以って確定とする。スケジュールの進行状況および諸事情によりレース時間が縮小される場合がある。

3、公式練習:全てのドライバーは定められた時間内に公式練習に参加しなくてはならない。

4、スターティンググリッドの決定:走行前のクジ引きによる抽選となる。先頭はGT-1クラスとし、その後尾からGT-2。GT-2の後尾からGT-3が整列する。

5、スタート方法:シグナルによるスタンディングスタート(日章旗が振り下ろされスタートとなる場合もある)。

6、ペナルティ:『[2016年度 新東京サーキット特別規則書](#)』を参照。
特に黄旗無視、プッシング行為、幅寄せなどは十分に注意すること!

7、ドライバー交代、およびピットストップ回数について:

【GT-1、GT-2】…全チーム、ドライバー交代を10回とする。

【GT-3】…ドライバーの交代回数は設けないが、1 分間ピットストップを定める。その回数は、下記の計算方法(平均年齢と平均体重の合計)により決定される。

平均年齢と平均体重の合計	ハンデストップ回数
110以上	6回
105以上 ~ 110未満	7回
100以上 ~ 105未満	8回

※定められたドライバー交代、ピットストップを消化できなかった場合は失格となる

8、女性ドライバーの重量:女性ドライバーの重量測定は任意とする。拒否の場合は一律60kgとする。

9、無線の使用について:イベント開催中、一切の無線の使用を禁止する。

10、ドライバーサイン:ドライバーサインは次の通りとする。しっかりと合図を出すように!

- ・ コース上で停止した場合は、両手を上げ、他の走行車両に合図する。
- ・ ピットイン、ピットアウトする場合は、他車にわかるよう片手を頭上に上げる。

11、ピット及びパドック内におけるルール:

- ・ ピットクルーの行為に関する最終的な責任はチームに帰属する。ピットクルーによる規則の違反は当該ドライバー(チーム)に対するペナルティとなる場合がある。登録されていないチーム関係者も同様とする。
- ・ ピットエリア内では火気厳禁(喫煙についても指定場所以外は固く禁ずる)。
- ・ 燃料の持ち込みはすべて消防法により認められた金属製の携帯缶に保管する。
- ・ パドック内、及びピットロードはすべて徐行(40km/以下)。

13、抗議:イベントのため、抗議は受け付けない

14、給油について:

レース当日、主催者より携行缶がレンタルされる。レース中の給油については、それを使用すること。ガソリン量については特別規則書にて記す。イベント終了後、すみやかに返却すること。

第6章 損害補償

オーガナイザー及び大会役員の業務遂行によって起きたドライバー、ピット要員の死亡、負傷及び車両の損害に対して主催、後援、協力、協賛するもの及び大会役員は一切の保障、責任を負わないものとする

この特別規則書に定める項目は、安全や公平性及び“モータースポーツを楽しむ”という目的と合致する場合、変更する場合がある。

その場合は、ホームページなどで事前に発表するがイベント当日で告知する事もある